

コラム

編集・発行：金浦区自治会

発行日：2022. 2. 8

金浦自然との共生シリーズ⑬

文責：波多野 哲哉



「擬態（ぎたい）」シリーズの第2弾です。前回はアゲハモドキ（資料②）とジャコウアゲハ（資料①）のことをお話ししましたが、これは蛾（ガ）と蝶（チョウ）の間でのことです。では同じチョウ同士でもそういうことがあるのでしょうか？

ということで、この標本箱を作ってみました。上段の左のチョウはスジグロカバマダラ（資料③）という毒チョウです。右はツマグロヒョウモン（資料④）のメスです。この場合は④が③に擬態していると言えます。さて、・・・ここからが問題なのですが、実はスジグロカバマダラが住んでいるのは沖縄県以南です。ツマグロヒョウモンも同所にいますが、分布を広げてここ金浦にもいます。ということは擬態する意味が無い？（笑）あとで毒チョウが分布を拡大していくかどうかは神のみぞ知ります。